

2023年3月吉日

一般社団法人 いきもの共生事業推進協議会

「自然と共生する世界」の実現にビジネスから貢献
11施設を「いきもの共生事業所[®]※1」に認証、
9施設が「いきもの共生事業所[®]」の認証を更新

一般社団法人いきもの共生事業推進協議会が運営する「いきもの共生事業所[®]認証(通称:ABINC:エイビंक)認証制度」では、このたび、生物多様性保全に取り組む工場、商業施設、集合住宅等の11施設を新たに「いきもの共生事業所[®]」として認証いたしました。また今回の更新申請(認証期間3年)によって、9施設が認証を更新しました。今回の認証、またADVANCE認証を含め、**認証件数は139件**となりました。

本認証制度は、一般社団法人企業と生物多様性イニシアティブ(JBIB※2)が開発した「いきもの共生事業所[®]推進ガイドライン」を評価基準とした第三者認証であり、今回が第14回目の認証となります。本ガイドラインは、生物多様性国家戦略 2012-2020において、事業者が生物多様性に配慮した社有地の管理をすすめるための方策として紹介されており、多くの企業がこれを参考に取り組みを始めています。

今後も、工場等を評価する「工場版」、都市再開発やショッピングセンター向けの「都市・SC(ショッピングセンター)版」、集合住宅向けの「集合住宅版」、物流施設や戸建住宅団地を評価する「戸建住宅団地版および物流施設版」、街区レベルの大規模施設を評価する「ABINC ADVANCE(アドバンス)版」と、幅広い施設用途に合わせた第三者認証制度を実施してまいります。

今回、認証または認証更新された施設は以下の通りです。(認証番号順)

| 認証(新規)施設名称 | 主用途 | 事業者 | 施設住所 |
|---|-------|---|---------|
| ロイヤルパークス花小金井 | 集合住宅 | 大和ハウスリート投資法人 | 東京都小平市 |
| アラスタワー五反田 | 集合住宅 | 旭化成不動産レジデンス株式会社 | 東京都品川区 |
| 九段会館テラス | 都市・SC | 合同会社ノーヴェグランデ | 東京都千代田区 |
| グランフォレスト田園調布 | 集合住宅 | JR西日本プロパティーズ株式会社 住友林業株式会社 スマリンフィルケア株式会社 | 東京都大田区 |
| イオンモール Nagoya Noritake Garden / BIZrium 名古屋 | 都市・SC | イオンモール株式会社 | 愛知県名古屋市 |
| ジェイグラン京都西大路 | 集合住宅 | JR西日本不動産開発株式会社 エヌ・ティ・ティ都市開発株式会社 | 京都府京都市 |
| イオンモール草津 | 都市・SC | イオンモール株式会社 | 滋賀県草津市 |
| THE OUTLETS KITAKYUSHU | 都市・SC | イオンモール株式会社 | 福岡県北九州市 |
| (仮称)世田谷区中町三丁目 計画 | 集合住宅 | 野村不動産株式会社 | 東京都世田谷区 |

| | | | |
|-----------------------|-------|-------------------------|--------|
| プレミスト昭島 モリパークレジデンス | 集合住宅 | 大和ハウス工業株式会社 住友商事株式会社 | 東京都昭島市 |
| イオンモール土岐 | 都市・SC | イオンモール株式会社 | 岐阜県土岐市 |

| 認証(更新)施設名称 | 主用途 | 事業者 | 施設住所 |
|--|------------|--|---------|
| 大手町タワー | 都市・SC | 東京建物株式会社 株式会社みずほ銀行 | 東京都千代田区 |
| ロイヤルシティ阿蘇一の宮リゾート ～ASONOHARA 草原育成プロジェクト～ | 戸建住宅 団地 | 大和ハウス工業株式会社 | 熊本県阿蘇市 |
| イオンモール東員 | 都市・SC | イオンモール株式会社 | 三重県員弁郡 |
| イオンモール長久手 | 都市・SC | イオンモール株式会社 | 愛知県長久手市 |
| 横浜ビジネスパーク | 都市・SC | 野村不動産株式会社 | 神奈川県横浜市 |
| ENEOS株式会社根岸製油所 中央緑地 | 工場 | ENEOS株式会社根岸製油所 | 神奈川県横浜市 |
| ドレッセ中央林間 | 集合住宅 | ドレッセ中央林間管理組合 | 神奈川県大和市 |
| 三井住友海上駿河台ビル ／駿河台新館 | 都市・SC | 三井住友海上火災保険株式会社 | 東京都千代田区 |
| MARK IS みなとみらい | 都市・SC | 三菱地所株式会社 三菱地所プロパティマネジメント 株式会社 エムエムディベロップメント 特定目的会社 | 神奈川県横浜市 |

※1 いきもの共生事業所[®]はJBIBの登録商標です。

※2 ビジネスによる生物多様性保全において先進的、積極的な取り組みを進める企業の集まりです。

一般社団法人いきもの共生事業推進協議会では、今回申請いただいた施設の取り組みを活用し、認証制度の進化に取り組みます。また、今後、ガイドライン及び認証制度の普及・啓発を担う人材の育成に力を入れ、さらに認証の適用範囲を、工場、物流施設、集合住宅、戸建住宅団地、公共施設等に拡大していくことによって、自然や地域共同体と共生する土地利用に取り組みやすい世界の実現に貢献して参ります。



ABINC
Association for Business Introduction
to Harmony with Nature and Community

認証書のロゴ

【一般社団法人いきもの共生事業推進協議会(ABINC)について】

生物多様性条約第10回締約国会議(CBD COP10)において採択された愛知目標および生物多様性戦略計画で掲げられた、2050年までの長期目標「自然と共生する世界」の実現と、2020年までの短期目標「生物多様性の損失を止めるために効果的かつ緊急な行動を実施する」の実現のために、ビジネスの貢献が求められています。当法人は、「自然と共生する世界」の実現にビジネスの貢献を推進するために、自然環境と地域共同体への負荷をできるだけ外部化しようとしてきた企業活動のベクトルを反転させ、志をともにする団体と協

働して、いきもの人と人が共生できるしくみを「創造」し、科学的・技術的に「検証」し、「事業化」を推進することを目的として設立されました。

【団体概要】

■名称：一般社団法人いきもの共生事業推進協議会

[英文名: Association for Business Innovation in harmony with Nature and Community
=略称ABINC(エイビンク)]

■設立：2013年12月25日 ■連絡先：info@abinc.or.jp ■ホームページ：<http://www.abinc.or.jp/>

■理事：森本 幸裕 (京都大学 名誉教授) <会長>

原口 真 (一般社団法人 企業と生物多様性イニシアティブ 顧問) <副会長>

黒田 大三郎 (公益財団法人 地球環境戦略研究機関 シニアフェロー)

足立 直樹 (一般社団法人 企業と生物多様性イニシアティブ 理事・事務局長)

村山 顕人 (東京大学 大学院工学系研究科 准教授)

■監事：梶谷 修 (一般社団法人 日本環境アセスメント協会 会長)

渡邊 哲朗 (税理士法人渡辺総研)

<本発表に関するお問い合わせ先>

一般社団法人いきもの共生事業推進協議会(ABINC)事務局 事務局長:安斉 担当:渡辺・薄井

※事務局業務取扱い受託 MS&ADインターリスク総研株式会社

e-mail : abinc@catcorp.jp TEL:045-228-7696